

故障かな?と思ったら…(続き)

細断中に止まつた または 細断できない	長時間の使用により、オートカット オフ機能が働いていませんか?	連続運転時間(オートオートフィードモード 約20分、手差し約10分)をこえて細断し たり、紙がかみこんだ状態で放置すると、 オートカットオフ機能が働いて停止します。 電源プラグを抜き、50分ほどそのままお いてください。再び細断を再開できます。
	紙を多く入れすぎていませんか?	定められた枚数以下にして細断してく ださい。
	投入口の幅より大きな紙を入れてい ませんか?	投入幅口の幅より小さな紙で細断を行って ください。
	紙が斜めに挿入されていませんか?	まっすぐに挿入してください。
	クリップ・ピンなどをかみこんでいま せんか?	一度逆回転させた後、電源を切り、電源 プラグを抜いて、本体を逆さまにするな どして取除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店までご連絡ください。

保証規定

1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。

万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。

- (1)保証書をご提示いただけない場合。
- (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
- (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
- (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
- (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。

3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。

4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。

5.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシス

テムなどへの組込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負
いかねます。

7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。

8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書 型番 400-PSD061

シリアルナンバー

お客様	お名前				
販売店	ご住所	〒			
	TEL				
販売店	販売店名・住所・TEL				
	担当者名				
保証期間	6ヶ月	お買い上げ年月日	年	月	日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

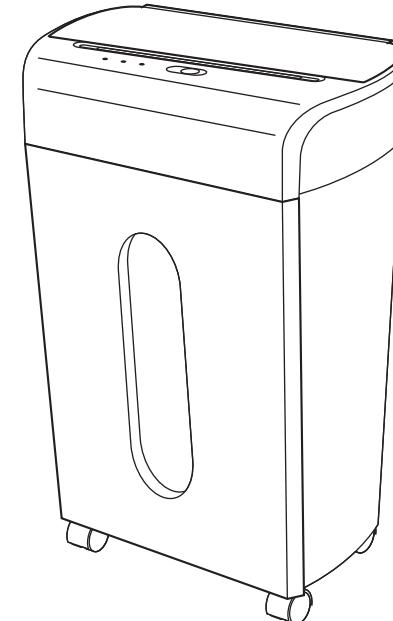
サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381
CA/BB/TTDaSc



400-PSD061

保証書付

オートフィードシュレッダー 取扱説明書



この度は、オートフィードシュレッダー「400-PSD061」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しております。ご使用の前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

①シュレッダー 1台 ②取扱説明書・保証書(本書) 1部

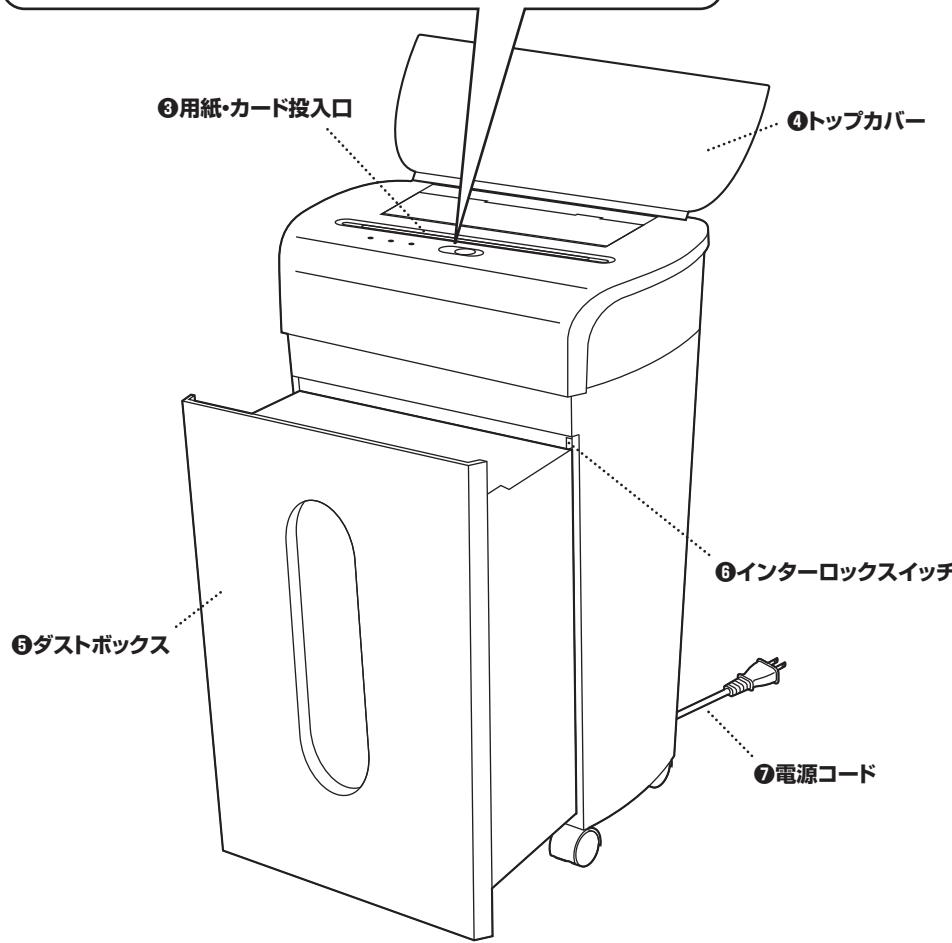
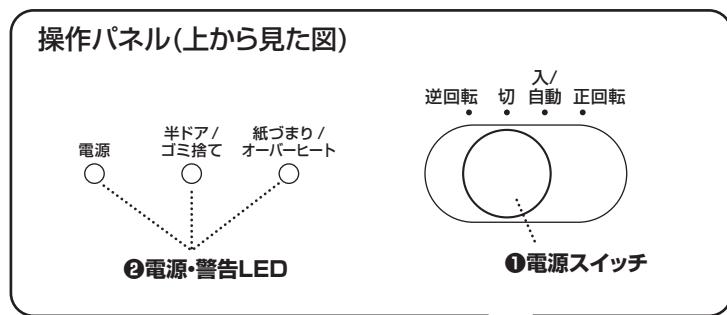
デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。

本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

各部の名称と働き

操作パネル(上から見た図)



必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる
場所に本体を設置してください。

① 電源スイッチ

逆回転：カッターが正転とは逆方向に作動します。

切：電源が入っていない状態になります。使用後はこの位置に合わせてください。

入/自動：電源が入り、投入口中央にあるセンサーを用紙が通過することにより自動的にカッターが正転作動・停止します。

正回転：カッターが正転方向に作動します。

② 電源・警告LED(警告LED点灯・点滅中は安全のために本機は作動いたしません)

電源 電源ON時、使用可能な状態の場合に緑色点灯します。

半ドア / ダストボックスが閉っていない場合に黄色点滅します。
ダストボックスを最後まで閉めてください。

ゴミ捨て 細断クズがダストボックスにいっぱいになると黄色点灯します。
細断クズを取除いてください。

紙詰まり 紙が詰まると赤色点滅します。紙詰まりを取除いてください。

オーバーヒート 細断作業が続き、モーターの温度が上昇した場合に赤色点灯します。
約50分休止してください。

③ 用紙・カード投入口

細断する紙・カードを投入します。規定の紙・カード以外の投入は絶対に避けてください。

投入口中央付近にあるセンサーを用紙・カードが通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。
センサーの前を通過するように用紙・カードを投入してください。

④ トップカバー

オートフィードで細断する紙をセットする際に開けます。

⑤ ダストボックス

細断クズを収容するダストボックスです。引き出して細断クズを取出します。

各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

細断クズは溜まりすぎないようにこまめに取出してください。

⑥ インターロックスイッチ

ダストボックスを閉めることにより、インターロックスイッチが押された状態になります。

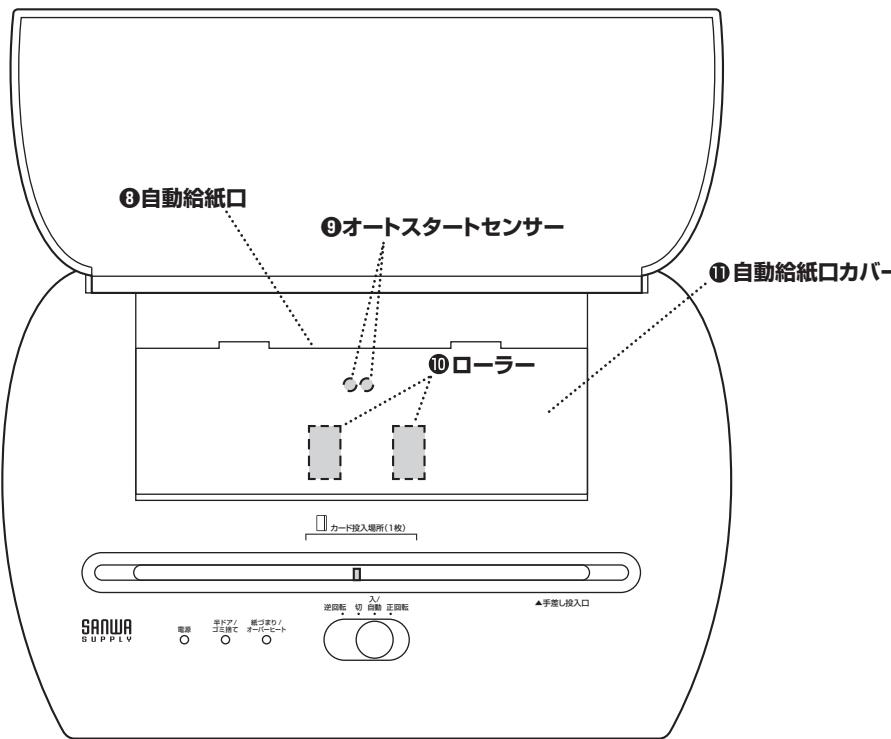
ダストボックスがしっかりとセットされていない場合(インターロックスイッチが押されていない場合)
は、安全のために本製品は作動しません。

⑦ 電源コード

必ず家庭用AC100Vのコンセントに直接接続して使用してください。タコ足配線は避けてください。
タップや延長コードを使用しないでください。

各部の名称と働き

自動投入口(上から見た図)



注意 必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に本体を設置してください。

⑧ 自動給紙口

オートフィードモードで裁断するA4の紙をセットします。

⑨ オートスタートセンサー

「自動給紙口」にセットした紙を感じます。

⑩ ローラー

「自動給紙口」にセットした紙を取り込みます。

⑪ 自動給紙口カバー(インターロックスイッチ)

自動給紙口カバーを開めることにより、安全装置が解除されます。

自動給紙口カバーがしっかりと閉じていない場合は安全装置が働き、本製品は作動しません。

「自動給紙口」に紙が詰まった場合は自動給紙口カバーを開けて、紙を取除きます。

ご使用の前に

本機は紙類およびカードの細断専用機です。

※DVD・CD、はがき、OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙・ポリ袋・布・ビニール・フィルムのほか、ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは投入しないでください。

細断能力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

給紙トレイ・投入口	概 要	カットタイプ	規定細断枚数
自動給紙トレイ	A4コピー用紙(64g/m ²)	マイクロカット (2×10mm)	最大110枚
手差し用紙投入口	A4コピー用紙(64g/m ²)		定格枚数8枚 最大枚数(1回)9枚
カード投入口	カード(厚さ0.2~0.8mm) ※プラスチック製のみ対応		1枚

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

※自動給紙トレイにはA4サイズ以外の紙を入れないでください。

※手差し用紙投入口(A4サイズ)より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。(規定枚数を超えないようにしてください。2ツ折/1枚=2枚)

※カードは縦向きに投入してください。



注意

投入口を間違えて投入しないでください。

■故障やケガをすることがあります。



警告

投入口にネクタイ、衣類、ネックレス、髪の毛などが引き込まれないようにしてください。

■感電やケガをすることがあります。もしも引き込まれそうになった場合は、ドアを開けて緊急停止し、逆回転させるなどして取除いてください。

オートカットオフ機能

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働いて、連続運転(オートフィードモード:約20分、手差し:約10分以上)を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は電源を切って電源プラグを抜き、そのまま放置してください。約50分後には再び細断が可能になります。

インターロックスイッチ

自動給紙口カバー、ダストボックスが最後まで閉まっていないとインターロックスイッチが働かず、安全のために本機は作動いたしません。自動給紙口カバー、ダストボックスを最後まで閉めてください。

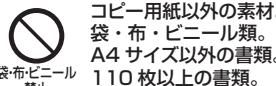
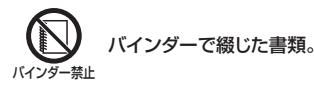
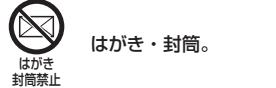
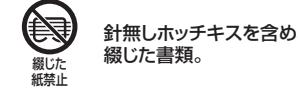
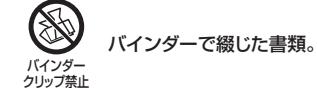
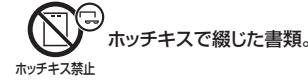
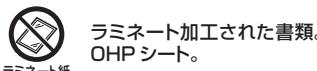
オートフィードモードと手差しモード

オートフィードモードと手差しモードを同時に行わないでください。また、紙類とカード類を同時に細断しないでください。故障の原因となりますので、それぞれ別々に細断してください。

ご使用方法(オートフィードモード)

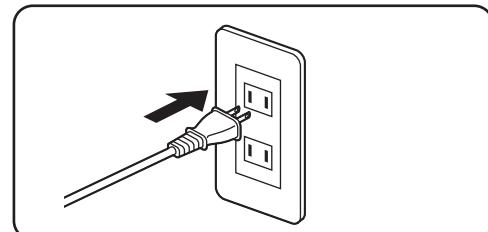
オートフィードモードで細断できないもの

※下記のものをオートフィードモードで細断しないでください。故障の原因となります。

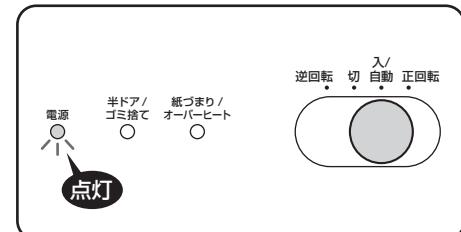


1. 電源コードをコンセント(AC100V)へ直接差し込みます。

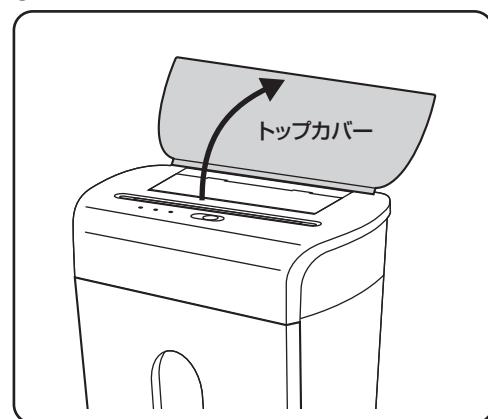
※タップや延長コードは使用しないでください。



2. 電源スイッチを「入/自動」にして電源LEDを緑色点灯させます。



3. トップカバーを開きます。



ご使用方法(オートフィードモード)

4. 自動給紙口に裁断する用紙をセットします。

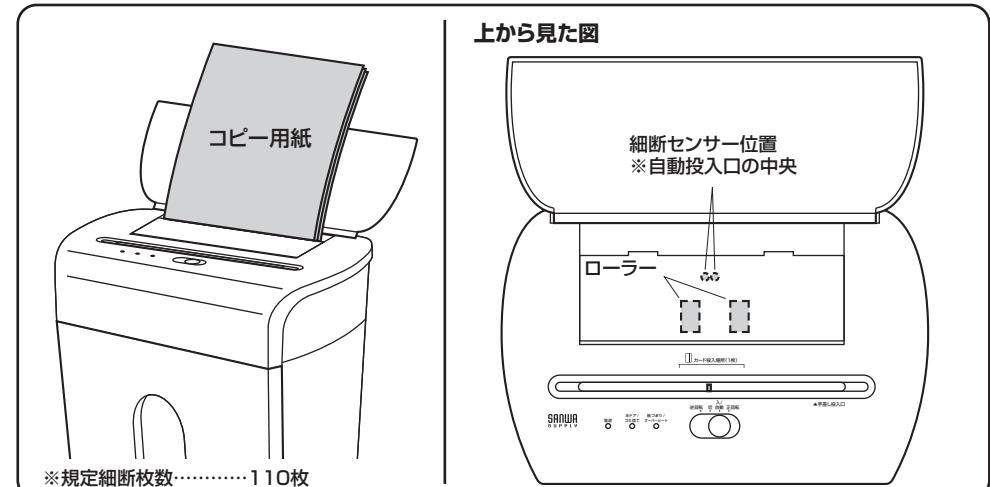
※規定の枚数を超えないでください。

※ホッチキス・クリップ・バインダークリップ・針なしホッチキスなどで綴じた書類は裁断できません。

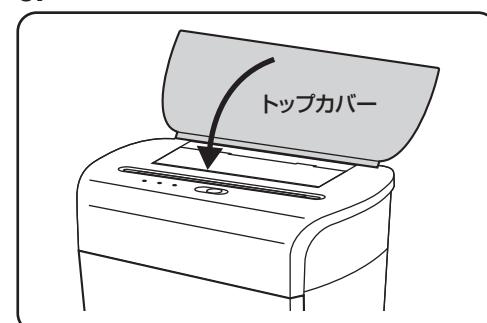
※投入入口にある細断センサーが感知できる位置に、まっすぐ投入してください。

細断するものがセンサー部を通過し終えるとカッターが停止します。

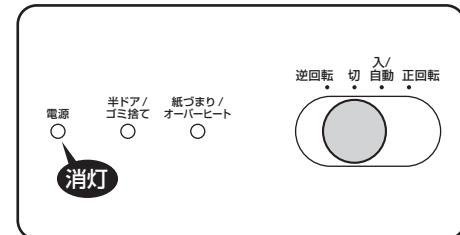
※手差し投入口との同時使用はしないでください。



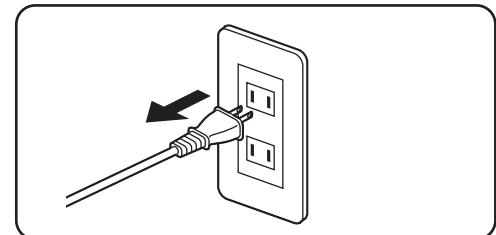
5. トップカバーを閉じます。



6. 電源スイッチを「切」にして電源LEDを消灯させます。

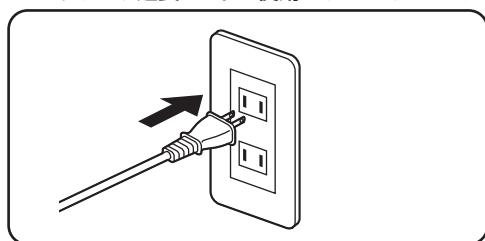


7. 電源プラグをコンセント(100V)から抜き取ります。

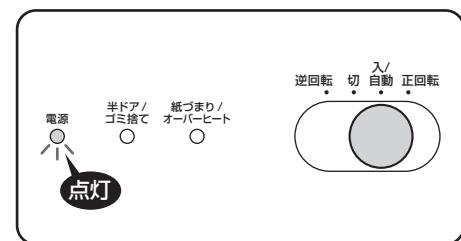


ご使用方法(手差しモード)

1. 電源コードをコンセント(AC100V)へ直接差し込みます。
※タップや延長コードは使用しないでください。



2. 電源スイッチを「入/自動」にして電源LEDを緑色点灯させます。



3. 細断する用紙またはカードを投入口の細断センサー位置にまっすぐ入れます。

※投入口にある細断センサーが感知できる位置に、まっすぐ投入してください。

細断するものがセンサー部を通過し終えるとカッターが停止します。

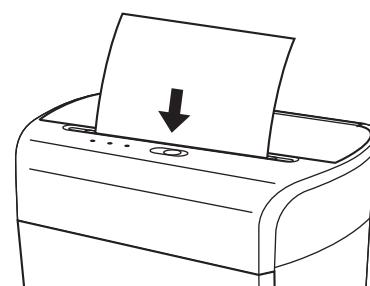
※規定細断枚数を必ず守ってください。

※自動投入口の同時細断、用紙とカードの同時細断はしないでください。



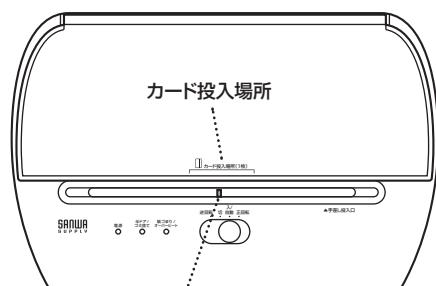
注意
細断された用紙とカードは同じダストボックスに溜まります。
分別して捨てる場合は細断する種類ごとに細断物を取り除き、ダストボックスを空にしてください。

●用紙の場合



※規定細断枚数………8枚
※最大細断枚数(1回)… 9枚まで

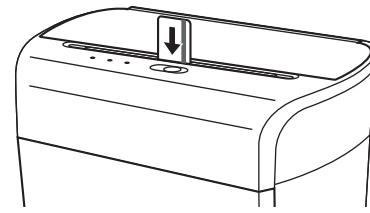
上から見た図



細断センサー位置
※手差し投入口の中央

●カードの場合

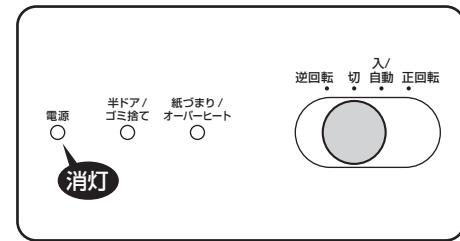
※カード投入場所に縦向きに投入します。



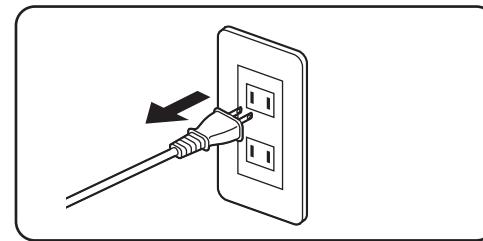
※カードは1枚づつ投入可能です。

ご使用方法(手差しモード)

4. 電源スイッチを「切」にして電源LEDを消灯させます。



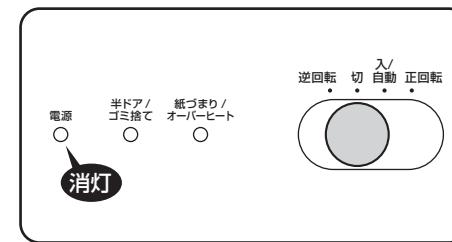
5. 電源プラグをコンセント(100V)から抜き取ります。



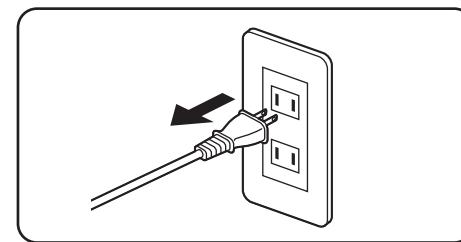
紙詰まりを起こしたとき(オートフィードモードの場合)

規定の用紙以外のものを挿入してしまったなどの原因で紙詰まりが起きると、紙詰まりの警告LEDが点灯し、カッターの回転が止まります。

1. 電源スイッチを「切」に合わせ、電源LEDを消灯させます。

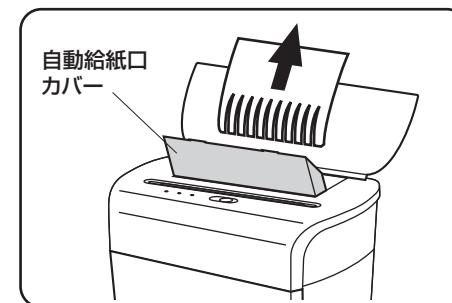


2. 電源プラグをコンセント(100V)から抜きます。

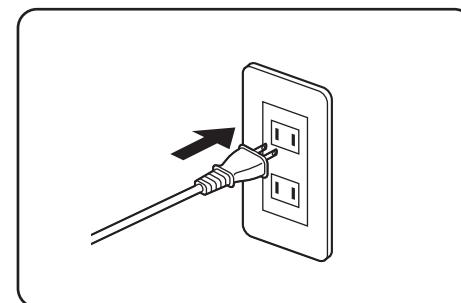


3. 自動給紙口カバーを開け、詰まった紙などをできるかぎり取除きます。

※カッターに触れてケガをしないようにご注意ください。

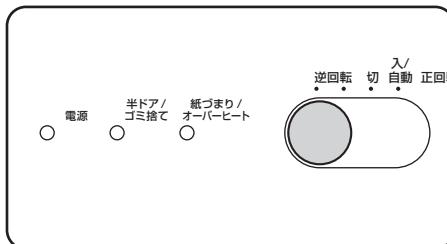


4. 自動給紙口カバーを閉めてから電源プラグをコンセント(100V)へ差し込みます。

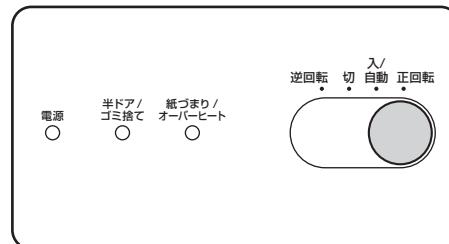


紙詰まりを起こしたとき(オートフィードモードの場合)

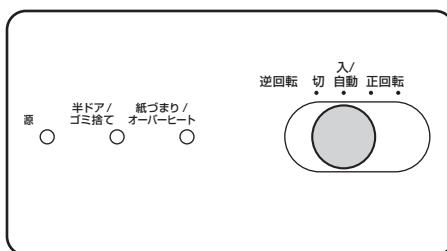
5. 自動給紙口カバーを開めてから電源スイッチを「逆回転」に合わせ、カッターの刃を動かします。



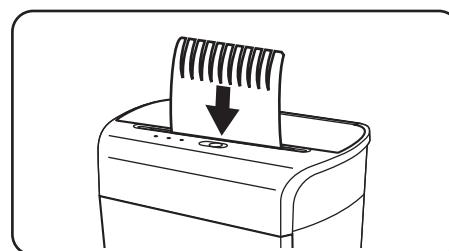
6. 電源スイッチを「正回転」に合わせ、正常に動作することを確認します。
正常に動作しない場合は、手順1~5を繰り返します。



7. 電源スイッチを「入/自動」に合わせます。



8. 手で取除いた紙の量を規定枚数以下に減らし、手差し投入口に入れます。



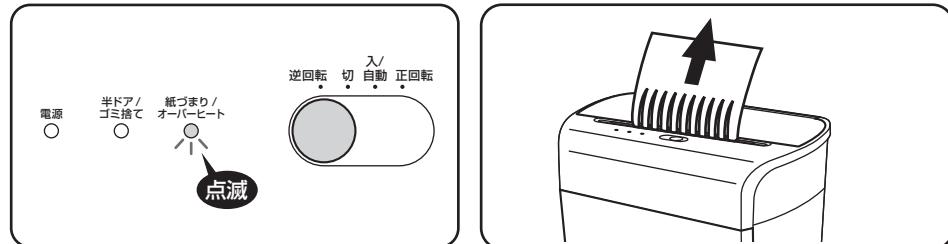
9. 終了後は、必ず電源スイッチを「切」に合わせて電源LEDを消灯させ、電源プラグを抜きます。



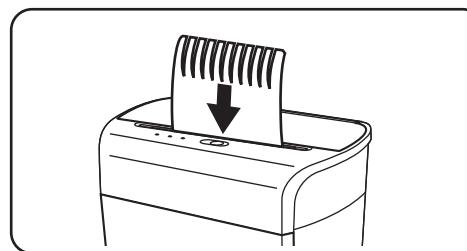
注意
頻繁に正転・逆回転を繰り返さないでください。
紙詰まりを起こしたままの状態で放置しないでください。
■モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

紙詰まりを起こしたとき(手差しモードの場合)

1. 規定枚数以上の投入や、紙を斜めに投入したことなどで紙詰まりが起きると、紙詰まりの警告LEDが点滅し、カッターの回転が止まります。
電源スイッチを「逆回転」に合わせて、詰まった紙を引き出します。



2. 紙の量を規定枚数以下に減らして細断した逆側の方向から用紙投入口にまっすぐに入れます。



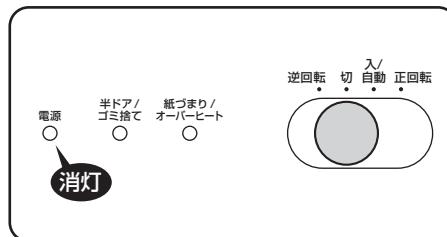
3. 終了後は、必ず電源スイッチを「切」に合わせて電源LEDを消灯させ、電源プラグを抜きます。



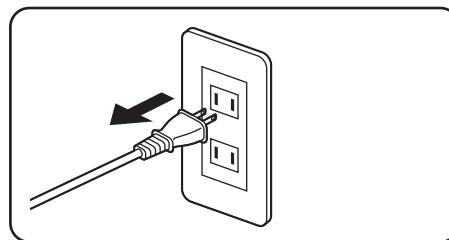
注意
頻繁に正転・逆回転を繰り返さないでください。
紙詰まりを起こしたままの状態で放置しないでください。
■モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

細断クズの捨て方

1. 電源スイッチを「切」に合わせてOFFにし、電源LEDが消灯していることを確認します。



2. 電源プラグをコンセント(100V)から抜き取ります。



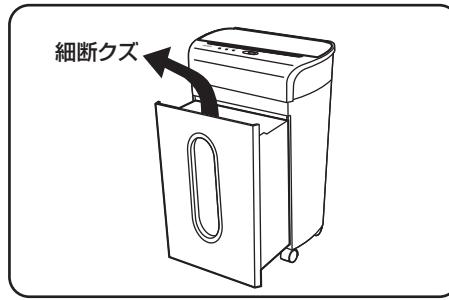
3. ダストボックスを引き出して細断クズを取出します。

※インターロックスイッチを押す突起部などを破損しないように丁寧に取扱ってください。

※各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

4. ダストボックスを元に戻します。

※ダストボックスがしっかりと閉っていないと安全の為、本機は作動しません。



使用上の注意とお願い

規定以外のものは入れないでください。

※金属や衣類は、カッターに損傷をあたえ、故障の原因となります。

必要以上に逆回転させないでください。

※細断クズが投入口にたまり、故障の原因となります。

使用後は必ず電源プラグを抜いてください。

ダストボックスが最後まで閉まっていない状態では、安全装置により本機は作動いたしません。

湿った紙やカーボン紙、シールのついた紙は入れないでください。

※カッターに細断クズがからまり、細断性能を低下させます。

必ず規定枚数・連続運転時間を守ってご使用ください。

※モーターを傷めたり、故障の原因となります。



	オートフィード A4用紙	手差し 用紙	カード
規定枚数	110枚	8枚	1枚
最大枚数(1回)		9枚	
連続運転時間	約20分	約10分	



警告 分解、修理、改造をしないでください。
■感電やけがをすることがあります。

仕様

細断物	A4コピー用紙、カード
投入幅	220mm(用紙)
細断形状	2×10mmマイクロカット
定格細断枚数	A4用紙(自動):110枚 A4用紙(手差し):8枚 カード:1枚
最大細断枚数(1回)	A4用紙(手差し):9枚
細断速度	手差し:約1.8m/分 自動:約2.3m/分
自動連続使用時間	約20分間(50分休止後再運転可)
手差し連続使用時間	約10分間(50分休止後再運転可)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	220W
サイズ	W358xD235xH570mm
バケット容量	約21L
騒音	空回り:約58dB 裁断中:約65dB
重量	約8.7kg

※本製品はカードを細断することにより、一般的のドライブ装置などで読み取りを不可能にするものであり、データを完全に破壊するものではありません。特殊な手段により読み取られる可能性がありますので、高度な機密と判断されるデータを含むものには使用しないでください。データを不正読み取りされた場合の損害に対し、弊社は製品故障の如何を問わず一切の責任を負いません。

お手入れ



お手入れの際は、電源スイッチを「切」に合わせて電源LEDを消灯させ、プラグを抜いてください。
■感電やケガをすることがあります。

本体の外側の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

※お手入れは本体の外装とダストボックスだけにしてください。

●ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などでは、絶対に拭かないでください。

※ひびわれ、変形、変色、故障の原因となります。

故障かな?と思ったら…



点検の際は、電源スイッチを「切」に合わせて電源LEDを消灯させ、プラグを抜いてください。
■感電やケガをすることがあります。

状況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか?	電源プラグを正しくコンセントに入れ直してください。
	電源スイッチが「切」になってしまいませんか?	電源スイッチを「入/自動」にしてください。
	細断物が投入口中央付近のセンサーを通過していますか?	投入口中央付近にあるセンサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。
	ダストボックスがしっかりと閉まっていますか?	ダストボックスが最後まで閉まっていないと安全装置が働き作動しません。最後まできちんと閉めてください。
	紙詰まりを起こしていませんか?	逆回転ボタンを押し、詰まった紙を取り除いてください。